

ドングルを挿入し、SSTG1 Dub のアイコンをダブルクリック



1. 新規プロジェクトファイルの作成

ソフトを起動します。

* [ファイル]→[新規]→[映像ファイルも開きますか?]→映像ファイルを選択し→[開く]→[波形データ生成中]

インターフェイスに映像と波形が表示されます。

⚠ mpeg1、wmv、mp4、mov が開けません。

⚠ [新規作成ウィザード]を使う方法もあります。

2. タイムコードの調整

[設定]→[映像とタイムコードの同期]をクリックします。

* 基本設定 ⚠ 本編に入ったところで調整を行って下さい。(黒み、カラーバー、クレジットなどは避けて下さい。)

⚠ 映像の最初から本編が始まっている場合は、数秒ほど進めたところで調整を行って下さい。

設定画面が出たら映像上のタイムコードを入力し、フレームタイプを選択し[OK]

⚠ 必ず映像の最後まで合っているか確認してください。

* フレーム落ち情報の設定

・フレーム落ちの場合・・・ フレーム落ちの個所にカーソルを合わせ、現フレームのタイムコードを入力し[OK]

・フレームがだぶっている場合・・・ 1フレーム単位での入力しかできませんので、2フレームだぶっている場合は2回設定を行って下さい。

* 設定情報のクリア・・・フレーム落ち情報の設定をクリアしたい時に使用します。

* フレームタイプ変換・・・変換したいフレームタイプを選択し[OK]

<使用する映像のフレームの種類>

3 0 Fr D FNTSC ドロップフレーム (29.97fps 主にテレビ放送用映像)

3 0 Fr N D FNTSC ノンドロップフレーム (29.97fps DVD、ビデオ用映像)

2 5 FrPAL (25fps フランスを除くヨーロッパ、中国、オーストラリアなどで使用される方式)

2 4 Fr①29.97fps のワーク映像に 1 秒あたり 24 フレームの TC が焼き付いている素材でスポッティング作業を行う場合。2-3 プルダウンされている。(主にデジタルシネマや映画素材などで使用)

②23.98fps のワーク映像を使い SSTG1 モード (もしくは旧ソフト) で作業を行う場合。

2 4 P①1 秒あたり 24 フレーム (24fps) の映像ファイルを使用してスポッティング作業を行う場合。(Blu-ray の作業などで使用)

②23.98fps のワーク映像を使い新再生モードで作業を行う場合。

※ **FPS** - Frame Per Second の略。動画のなめらかさを表す指標。1 秒間に何枚の画像を表示しているかを示す。

3. 画面調整

[設定]→[画面調整]

・[マスターテープ (映像素材)] : 使用する映像ファイルの画角タイプを選択します。

マスターテープ (映像素材)	
4:3	
4:3 (LetterBox)	ハイビジョンの映像 (16:9) や映画 (シネマスコープ) を 4:3 の画面に表示して、上下に黒い帯が入った状態をいいます。
4:3 (Squeeze)	16:9 のワイド画面を 4:3 の画面に表示した時、レターボックスの様に上下の黒い帯を出さずに、左右を圧縮して表示する手法です。
4:3 (SideBlack)	4:3 の映像を左右に黒帯をつけて 16:9 とした状態をいいます。
16:9	

・[目的モニタ (出力対象)] : 完成させる解像度を選択します。

目的モニタ (出力対象)
720×480 (4:3 NTSC)
720×480 (16:9 NTSC)
720×576 (4:3 PAL)
1280×720 (16:9 HD)
1920×1080 (16:9 FullHD)
ユーザ定義サイズ

 映像ウィンドウ内に映像が収まっていない場合、左下の「画面にフィット」 をクリックしてください。

4. 台本(スクリプト)のインポート

[インポート]→[台本]→  ボタンをクリックし、台本(テキストファイル.txt)を選択して[開く]→OK

 英語以外の台本をインポートする場合は[詳細設定]のエンコードの種類のパルダウンから[UTF8]を選択してインポートしてください。

ここで一度 sdbd ファイルに名前を付けて保存することをお勧めします。

5. 音声波形の調整

* 横幅の拡大縮小 音声波形ウィンドウ左側の  で調整できます。

* 上下の拡大縮小 音声波形ウィンドウ左側の  で調整できます。

6. 映像の再生 ※音声波形上にカーソルを置きます

- * 再生、停止…  キー or  キー or  キーを押し続けます。
- * コマ送り…  キーを 1 回ずつ押します。
- * リピート再生…  キー(カーソルがスポッティング内にある場合) or  キー
- * 逆再生…  キーを押し続けます。 or  キーを 1 回ずつ押すごとに 1 フレーム戻ります。
- * 早送り (2 倍速再生) …再生中に  キーを押すと早送り 再度  キーを押すと通常再生に戻る 【wmv の映像では不可】
- * 1/2 のスロー再生…再生中に  キーを押すとスロー再生 再度  キーを押すと通常再生に戻る 【wmv の映像では不可】

7. スポットニングの取り方

* マウスを使用する場合・・・In 点(吹替の最初のフレーム)から Out 点(吹替の最後のフレーム)の波形部をドラックします。

* キーボードを使用する場合・・・

In 点を決めて、**Shift** キー + **→** キー を押します。(再生方向にスポットニングができます)

Out点を決めて、**Shift** キー + **←** キー を押します。(逆再生方向にスポットニングができます)

8. スポットニングの微調整 ※スポットニングをアクティブにした状態で

* In点、Out点を調整する場合。

・ **Home** キー・・・カーソルが IN 点に移動

End キー・・・カーソルがそのスポットニングの最後のフレーム (OUT 点-1) に移動

⇒ **Shift** キーを押しながら **→** キー 又は **←** キーを押します。(1 フレームずつ調整)

・ [インポイントインジケータ] [アウトポイントインジケータ] [デュレーションインジケータ]へ直接タイムコードを入力し **Enter** キー

* 1 つのスポットニングのデュレーションを変えずに移動させる場合。

・マウスカーソルを目的のスポットニング上に置き、**Ctrl** キーを押して菱形に変わったらマウスを左右に動かします。

9. 原文の貼り付け(ハコ割り)

テキストウィンドウをアクティブにし、台本ウィンドウでスポットニングをした部分のセリフをドラックして[コピー]ボタンを押すと原文ウィンドウへ貼り付けられます。(この場合台本ウィンドウから切り取られます)

 台本ウィンドウ上の[コピー先:セリフ枠]にチェックを入れるとセリフウィンドウにコピーできます。

 [すべて表示]にチェックを入れてから台本をインポートすると、台本を切り取らずにコピーできます。

10. ページ送り・戻し

次の吹替へ移動 **PgDn** キー

前の吹替へ移動 **PgUp** キー

11. 役名

役名を設定します。

* 初期登録：[吹替]→[役名]で使用する役名を一括登録

⇒ セリフごとに役名選択プルダウンから役名を選択 or 役名入力欄に役名を直接入力

* 役名の追加：[吹替]→[役名]で新しい役名を入力 or 役名入力欄に新しい役名を入力して Enter

* 役名の変更：[検索等]→[置換]で既存の役名を置換

* 1トラックに役名を一括設定：[設定] - [役名設定]から 1トラックに役名を一括で設定できます。

 トラック一括で役名が設定されているトラックには、それ以外の役名は設定できません。

12. テキストウィンドウの使い方

< 巻末「テキストウィンドウの拡大図」参照 >

* セリフウィンドウ ……1 行 23 文字で自動改行

* テロップ (ト書き) ウィンドウ ……1 行 12 文字で自動改行

 テロップとして で囲って出したい場合は、テロップウィンドウの行数ボタンをクリックします。

* コメントウィンドウ ……コメントを付けたいテキストウィンドウを選択し、コメントウィンドウに入力すると、テキストウィンドウに黄色い  マークが表示されます。

コメント欄に入力した内容は csv にエクスポートすることができます。

C ボタンをクリックで次のコメントのあるセリフに移動します。

* テロップ原文ウィンドウ・・・入力した内容は csv にエクスポートすることができます。

* **TIME** ボタン・・・Word 台本にタイム（分：秒）を表示するよう設定できます。 ※「時：分：秒」の表示も可能です。

* **VO** ボタン・・・Word 台本にボイスオーバー（VO）マークを表示します。

* **FILTER** ボタン・・・Word 台本にフィルター（f）マークを表示します。

* **Back** ボタン・・・Word 台本に Back（B）マークを表示します。

* **点線** ボタン・・・Word 台本でそのセリフの直前に点線を引きます。

* **二重線** ボタン・・・Word 台本でそのセリフの直前に二重線を引きます。

13. セリフかぶり

* タイミングが重なったセリフに自動的に「W」マークをつける・・・ **W** ボタンをクリック

タイミングが重なるセリフの入力：テキストウィンドウ上のトラックタブもしくは波形上のトラック部分をクリックしてトラックを切り替え、タイミングが重なるようにスポッティングを取り、セリフを入力します。

映像上のセリフ表示位置を変えたい場合は、「表示位置・行配置」を変更するか、映像上でセリフをマウスドラッグでずらして下さい。

* タイミングが重なっていないセリフに手動で「W」マークをつける・・・ **W** ボタンをクリック

* セリフかぶりジャンプ・・・ **W↓** ボタンをクリックで次のセリフかぶりに移動します。

14. シーン設定 / ロール設定

* シーン IN を設定する・・・吹替 BOX を選択し、 **IN** ボタンをクリック

そのセリフの前にシーン区切り線が引かれます。

* ロール IN を設定する・・・吹替 BOX を選択し、 **RIN** ボタンをクリック

そのセリフがロールの先頭となり、その前で改ページすることができます。また、Word 台本にロール番号が表示されます。

15. その他の台本エフェクト

* ルビ・・・ルビを振りたい文字をドラッグして **R** ボタンをクリック→ふりがなを入力し[OK]

* イタリック・・・イタリックにしたい文字をドラッグして **I** ボタンをクリック

* 記号ボタン ※セリフ中の記号を挿入したい位置にカーソルを置いた状態でクリックします。

(M) **(M)**・・・ミュージック

(ME) **(ME)**・・・ミュージックエフェクト

(SE) **(SE)**・・・サウンドエフェクト

(ON)・・・フェイスオン

(OFF)・・・フェイスオフ

(AD)・・・アドリブ

[・・・フェイスオフ（頭）

]・・・フェイスオフ（尾）

16. 台本プレビューウィンドウの使い方

< 巻末「台本プレビューウィンドウ」参照 >

Word の縦書き台本とほぼ同一のイメージを画面上でプレビューしながら修正することができます。

17. セリフの画面表示設定切り替え/テロップを画面上に表示

[設定]→[セリフ表示設定] をクリック。

* [セリフ枠を画面表示する]→すべてのセリフをビデオウィンドウ上に表示します。トラックごとに表示位置・行配置を指定することができます。

* [セリフ枠を画面表示しない]→セリフをビデオウィンドウ上に表示しません。

↳[テロップを映像ウィンドウ上に表示する] →テロップをビデオウィンドウ上に直接表示します。

* [以下の役名のセリフ枠のみ画面表示する]→特定の役名のセリフだけをビデオウィンドウ上に表示します。

⚠ セリフを表示しながらテロップも別ウィンドウで表示するには・・・ [吹替]→[テロップ]でテロップ表示ウィンドウが出ます。

18. セリフ(テロップ/ト書き)ウィンドウの削除 ⚠ スポットティングと同時にテキストウィンドウも消えます。入力したセリフ等のデータも消えます。

* 『音声波形ウィンドウ』または『テキストウィンドウ』上で右クリック→[削除]

* 『音声波形ウィンドウ』または『テキストウィンドウ』をアクティブの状態にし、Delete キー

* [吹替]→[吹替削除]→[現在位置の吹替を削除]

* 『音声波形ウィンドウ』をアクティブの状態にし、Ctrl キーを押しながら音声波形ウィンドウの枠から (上下に)出す

19. 複数のセリフ(テロップ/ト書き)ウィンドウの削除

* [吹替]→[吹替削除]→[範囲指定]→削除したい範囲を指定して[OK]

・[a -b] a から b までの吹替 BOX

・[a -] a から最後まで吹替 BOX

・[- b] 最初から b までの吹替 BOX

* テキストウィンドウ上で Shift キーでハコを範囲選択、または Ctrl キーでハコを複数選択し、右クリック→[削除](または Delete キー)

* 音声波形ウィンドウ上で Shift キーでハコを範囲選択、または Alt キーでハコを複数選択し、右クリック→[削除](または Delete キー)

20. ガヤトラック機能

映像上で実際にガヤが聞こえる位置にスポットティングを取ってガヤセリフを入力し、エクスポートした台本ではシーンの最後など、指定した位置にガヤセリフをまとめて入れる機能です。

1. [設定]→[ガヤトラック設定]より C トラック/D トラックをガヤトラックに設定します。

2. 設定したガヤトラック (C または D) にスポットティングを取り、ガヤを入力します。

3. ガヤを挿入したい位置を波形上で選択し、右クリック→「C トラック (D トラック) のガヤ位置を確定する」をクリックします。

すると、選択した箇所の直後のセリフ (ガヤトラックを除く) の In 点が緑色に変わります。

4. Word 台本に出力すると、この In 点が緑色に変わったセリフの直前に当該ガヤが挿入されます。

一つのガヤトラックには複数のガヤを入力し、Word 台本への挿入位置も複数設定することができます。

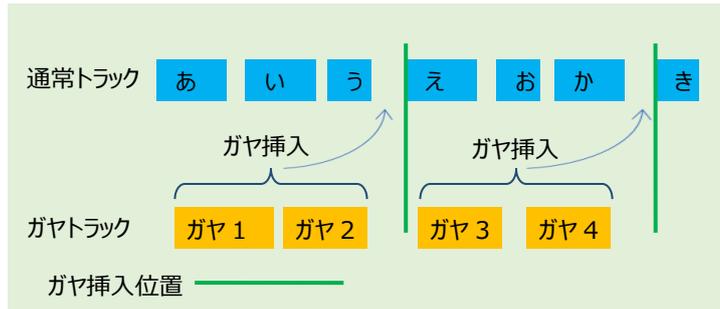
* ガヤ挿入位置の解除

ガヤ位置ごとに個別解除・・・ガヤの挿入位置が確定しているセリフ (In 点が緑色のスポットティング) を右クリックし、「ガヤを解除する」を選択
トラック一括解除・・・波形上で右クリックし、「C トラック/D トラックのガヤを全解除する」を選択

⚠ C トラック/D トラックにすでにスポットティングが存在している場合には、ガヤトラックに設定できません。ガヤトラック機能を使用する場合は、スポットティング前にガヤトラック設定を行ってください。

⚠ ガヤトラックに 1 つでもスポットティングがあると、ガヤトラック設定の解除はできません。解除する際は、そのガヤトラックのスポットティングをすべて削除してから行ってください。

⚠ ガヤ挿入位置を複数個所に設定すると、前のガヤ挿入位置より後ろのガヤトラックのセリフがまとめて挿入されます。



21. ユーザー設定

[設定]→[ユーザー設定]をクリックします。 ⚠ ユーザー設定はソフトに対する設定です。sdbd ファイルには保存されません。

1.[ガイドライン]

a. 吹替

* 文字数 (秒)・・・1 秒何文字で設定するか、文字数を入力します。このガイドラインにより、『最高文字数インジケータ』、および『残り文字数インジケータ』に表示される数値が決定されます。 ⚠ 警告は出ません。

b. タイムコード

* 吹替表示時間

[警告]・・・設定された長さより短いスポッティングは赤く表示されます。

[強制]・・・設定された長さより短いスポッティングは作成できません。

* 吹替の間隔

スポッティングとスポッティングの間隔は、[強制]で設定された値より短くすることはできません。

c. ME 等の記号の前に入れる全角スペースの数・・・下記ボタンの前に入れる全角スペースの数を入力します。

《M》、《ME》、《SE》、(M)、(ME)、(SE)、ツールバーのカスタムボタン

2.[画面表示]

a. ビデオウィンドウ

* セーフティエリアを表示する・・・チェックが入っている場合、セーフティエリアが『ビデオウィンドウ』上に赤線で表示されます。

※%の入力値によって、セーフティエリアの表示位置が決まります。(SD の場合は 80%、HD の場合は 85%が一般的)

* 吹替数インジケータを小数点で表示する・・・チェックが入っている場合、『テキストウィンドウ』にある文字数表示の数字が小数点まで表示されます。

※その他の項目はユーザーマニュアルをご覧ください。

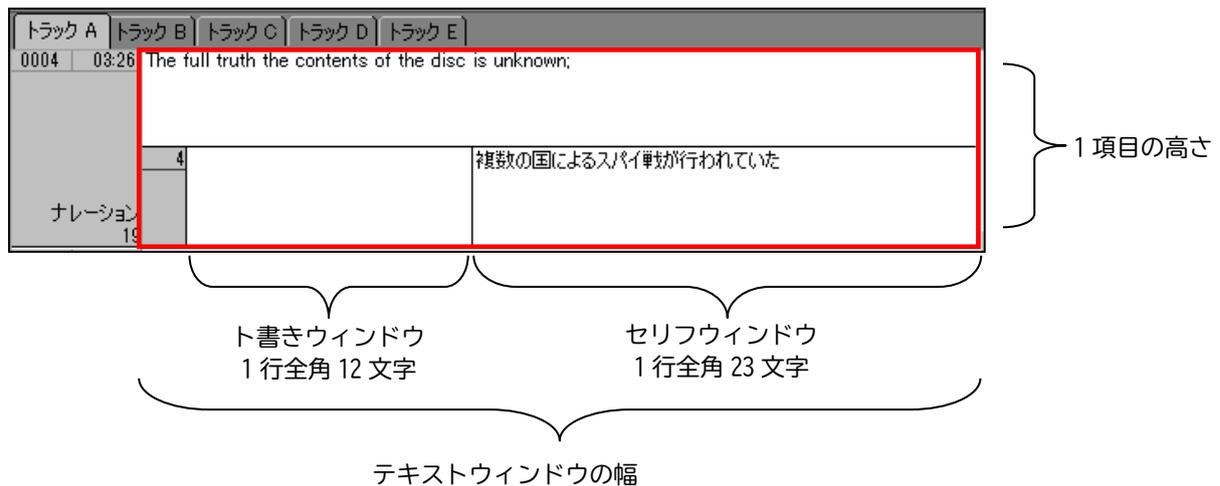
b. 吹替ウィンドウ/台本ウィンドウ

* フォント名・・・『テキストウィンドウ』の文字のフォントを変更することができます。

* フォントサイズ・・・『テキストウィンドウ』の文字のサイズを変更することができます。

* 1 項目の高さ・・・『原文ウィンドウ』『セリフウィンドウ』の入力枠の高さを変更することができます。

⚠ フォントサイズを変更すると、ト書きウィンドウは 1 行全角 12 文字、セリフウィンドウは 1 行全角 23 文字を表示できるよう、テキストウィンドウの幅が自動的に変更されます。



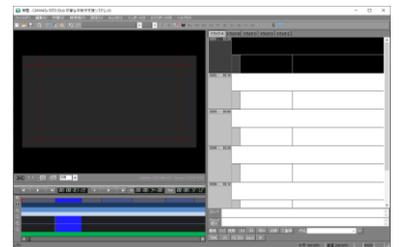
c. 台本縦書プレビューウィンドウ

- * フォント名・・・『台本プレビューウィンドウ』の文字のフォントを変更することができます。
- * フォントサイズ・・・『台本プレビューウィンドウ』の文字のサイズを変更することができます。

d. 波形ウィンドウを短縮し、吹替 BOX を縦長表示する →

このチェックボックスにチェックが入っている場合、波形ウィンドウが短縮され、吹替 BOX が画面下まで表示されるようになります。

有効にするにはアプリケーションを再起動してください。



e. PgUp/PgDn 時にカーソルを常に入力状態にしておく

このチェックボックスにチェックが入っている場合、テキストウィンドウ入力状態にして Page Up/Page Down キーで前後のセリフに移動すると、カーソルが常に入力可能状態になります。

3. [詳細]

a. 操作

* 吹替再生の前後オフセット時間・・・

スポッティング領域内を繰り返し再生する場合、設定した時間前から再生し、設定した時間後で停止します。

* キーボード←、→の押下判定時間 (ms)・・・ 、のキーを長押し再生する場合の反応時間を設定します。

※300 は 0.3 秒です。数値が大きくなると反応が遅くなります。

* キーボード←の 1 フレームシークで音声出力する・・・

チェックをはずすと  キーでコマ戻しする際に音声が出なくなります。

b. 波形データ

「ステレオで生成する」にチェックを入れて波形を生成すると、後で波形の表示を「L Only」または「R Only」に切りかえる事ができます。

※「ステレオで生成する」のチェックを入れずに波形を生成した場合は L/R の切りかえができません。

c. 映像再生機構 (次のプロジェクトから有効)

「Direct Show を使う」のチェックを外すと新再生モード、チェックを入れると SSTG1 モードへ切り替えることができます。

※上記チェックの有無にかかわらず、「23.976fps の MPEG-1 映像ファイルには DirectShow を使用しない」にチェックが入っている場合、23.976fps の mpeg1 映像は必ず新再生モードで開かれます。

※MOV、MP4 の映像を使用する際は自動的に新再生モードに切り替わります。

 **WMV の映像を使用する際は SSTG1 モードに切り替えて下さい。新再生モードはサポートしていません。**

d. ビデオの表示にオーバーレイを使用する（次のプロジェクトから有効）※SSTG1 モードの場合のみ

映像が上手く映らない場合や再生が滞る場合は設定を変更してみてください。

「オーバーレイ機能が使用できません」とメッセージが出る場合は、チェックをはずして下さい。

e. Microsoft の CODEC を優先（再起動後に有効）※SSTG1 モードの場合のみ

映像が上手く映らない場合や再生が滞る場合は設定を変更してみてください。

4. [色]

* 配色・・・配色パターンを選択できます。

* 波形ウィンドウの色・・・色を変更したい項目をクリックし、カラーパレットから色を選択します。

* 波形と選択領域の重ね合わせ・・・スポッティング領域での波形や背景などの色の合成方法を 3 パターンから選択できます。

5. [メンテナンス]

a. バックアップファイルの保存先フォルダ

* バックアップファイルの消去・・・[エクスプローラを開く]  ボタンをクリックし、不要なファイルを削除して下さい。

* バックアップファイルの保存先・・・  パスをクリックするとバックアップファイルの保存先を指定することができます。

 **録音データはバックアップされません。**

b. 波形データファイルの保存先フォルダ

* 波形データファイルの消去・・・[エクスプローラを開く]  ボタンをクリックし、不要なファイルを削除して下さい。

* 波形データファイルの保存先・・・  パスをクリックすると波形データファイルの保存先を指定することができます。

22. プロジェクトファイルの保存

[ファイル]→[名前を付けて保存]→ファイル名と保存先を指定し[保存]します。



 **sdbd ファイル名や保存するフォルダ名に特殊記号、ハングル文字等は使わないで下さい。映像ファイルも同じです。**

23. プロジェクトファイル(.sdbd)を開く

* ソフトを起動します。[ファイル]→[プロジェクトファイルを開く]→.sdbd ファイルを開く→映像ファイルを開きます。

* ソフトが起動していなくても sdbd ファイルをダブルクリックするだけでソフトが立ち上がります。

映像を開く場合は[ファイル]→[映像ファイルを開く]→ファイルを指定して[開く]

【便利機能】

24. UNDO・REDO 機能

1,000 ステップ前までやり直しが可能です。

 ...元に戻す

 ...やり直し

25. フォーマットの設定

[設定]→[フォーマット設定]で映像ウィンドウに表示する文字のフォーマットを設定します。

 **Word 台本には反映されません。**

1. [テキスト]

セリフ、テロップのフォント、サイズ、色などを変更することができます。

2. [表示位置・行配置]

映像ウィンドウに表示するセリフ/テロップの表示位置、行配置を変更することができます。

1つのセリフ（テロップ）だけ、表示位置・行配置を変更する場合は・・・

その吹替 BOX を選択し  ボタンをクリック→表示位置と行配置を選択し[OK]

3. [ボタン]

* カスタムボタン ○・・・Word 台本の役名の下に任意の記号を表示するためのカスタムボタンを設定することができます。

ボタンはテロップ原文ウィンドウの下の  ボタンの隣に表示されます。

 半角カナ、英数字が設定可能です。台本に出力されるのは最初の一文字のみです。（例：ウキ ⇒ (ウ)）

* ツールバーのカスタムボタン・・・《 》または（ ）付きで任意の文字をセリフ欄に入力するためのカスタムボタンを設定することができます。

ボタンはツールバーに表示されます。

セリフウィンドウを入力可能状態にしてカスタムボタンをクリックすると、カーソルのある位置に下記が挿入されます。

ユーザー設定で指定した全角スペース＋カスタムボタンで指定した文字列（カッコ付き）

26. 吹替の分割・結合・コピー

* 吹替を分割する・・・波形上の分割したいポイントにカーソルを合わせ、右クリックして[分割]を選択します。

 **分割した位置が、次の吹替の in 点になります。**

セリフは、前後同じものが表示されますので、それぞれ余分なテキストを削除します。

* 吹替を結合する・・・結合したい2つの吹替の「前の」スポッティングをアクティブにし、右クリックして[後ろに存在する吹替と結合]を選択します。前後のセリフが2行(前のセリフが1行目、後ろのセリフが2行目)になって表示されます。

 **原文ウィンドウ内の原文も結合されます。**

* 吹替を別トラックへコピーする

・波形上でコピーしたい吹替を右クリック→[○トラックにコピー]

・テキストウィンドウ上でコピーしたい吹替 BOX を右クリック→[○トラックにコピー]

27. ショートカットキーの設定

下記の順番で行ってください。

1. [設定]→[ショートカットキー設定]をクリックします。
2. [ショートカットキー設定]画面にあるプルダウンリストよりカテゴリーを選択します。
3. 選択したカテゴリーのリストから、ショートカットキーを変更する項目を選択します。
4. [ショートカットキー]内に現状のショートカットキーが表示されます。登録がない場合はブランクになっています。
5. ショートカットキーを変更又は新規登録する場合は[ショートカットキー]に新しいキーを入力し[設定]ボタンをクリックします。
6. ショートカットキーを削除する場合は[削除]ボタンをクリックします。
7. 全てのショートカットキーをデフォルトの状態に戻す場合は[デフォルトに戻す]ボタンをクリックします。
8. 上記の入力が完了したら[OK]をクリックします。
9. 設定を行ったショートカットキーを有効にするためには、ソフトを再起動して下さい。

28. 検索・置換

* 検索

- ・ [検索等]→[吹替検索]をクリック
- ・ **Ctrl** + **F** キー
- ・ ツールバーの検索ボタン 

* 置換

- ・ [検索等]→[置換]をクリック
- ・ **Ctrl** + **H** キー

29. 吹替の移動

[吹替]→ [吹替移動] をクリック し該当する項目を選択します。

a. [挿入または削除によるタイムコードの調整]

* [ビデオのインサートによる調整]

ビデオに新しい映像の一部が追加された場合、映像を追加した位置のタイムコードを[スタート位置]に入力し、追加した映像の長さを[デュレーション]に入力します。

* [ビデオの削除による調整]

ビデオから既存の映像の一部が削除された場合、削除した箇所のタイムコードを[スタート位置]に入力し、削除した長さを[デュレーション]に入力します。

 映像が削除された部分の吹替をあらかじめ削除してから行って下さい。

b. [現在位置より後ろの吹替を移動] ※移動させたいスポッティングの左側にカーソルを置いて下さい。

- * [左へ移動]・・・[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『音声波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにある吹替全てが、[デュレーション]に入力された値分左へ移動します。
- * [右へ移動]・・・[デュレーション]に移動させたい時間の値を入力すると、『波形ウィンドウ』上のカーソルが置かれている部分より後ろにある吹替全てが、[デュレーション]に入力された値分右へ移動します。

c. [現在選択されている吹替のインフレームを基準に吹替を移動]

- * [全体を移動]・・・[音声波形ウィンドウ]上のカーソルが置かれている吹替のインフレームが[現在のインフレーム]に表示されるので、右側の入力欄に移動したいタイムコードを入力します。選択されている吹替を基準に全体の吹替が移動します。
- * [選択されている吹替以降を移動]・・・[音声波形ウィンドウ]上のカーソルが置かれている吹替のインフレームが[現在のインフレーム]に表示されるので、右側の入力欄に移動したいタイムコードを入力します。選択されている吹替を基準に後ろの吹替だけが移動します。

d. [全体のスポッティングの In、Out を移動]

- * IN 点を左へ移動した場合
全てのスポッティングの IN 点が、設定した数値分左(前)に移動し、デュレーションが長くなります。
- * IN 点を右へ移動した場合
全てのスポッティングの IN 点が、設定した数値分右(後)に移動し、デュレーションが短くなります。
- * OUT 点を左へ移動した場合
全てのスポッティングの OUT 点が、設定した数値分左(前)に移動し、デュレーションが短くなります。
- * OUT 点を右へ移動した場合
全てのスポッティングの OUT 点が、設定した数値分右(後)に移動し、デュレーションが長くなります。

30. 台本エクスポート

[エクスポート] → [台本]を選択します。

出力ファイル設定の  ボタンから出力先とファイル名を設定し、[保存]をクリックすると、保存先に Word ファイルが出力されます。

a. 台本タイプ

デフォルト台本・・・一般的なドラマ台本形式。

VO 台本・・・ボイスオーバー台本形式。ト書き欄に必ずタイムが表示されます。また、セリフ間に空行が入ります。

b. タイムコード表示

[TIME]ボタンを押したセリフに表示するタイム（VO 台本は各セリフのト書き欄に表示するタイム）の表示形式を選択します。

c. 改ページ

ロール区切りで台本を改ページするかどうかを選択します。

 ここにチェックを入れると先頭にも改ページが入り、空白ページが冒頭に出力されます。

d. 重複文字

セリフかぶりに表示する（W）マークの表示形式を選択します。

e. ボタン

、、、カスタムボタン○ の表示形式を選択します。

f. ロール表記の選択

各ロールの先頭に表示するロール番号の表示形式を選択します。

31. データファイルのエクスポート

*テロップリスト

[エクスポート] → [テロップリスト]を選択します。テロップとテロップ原文、行番号、タイムコードがリストで表示されます。

*sdb

1. [エクスポート] → [sdb]を選択します。出力ファイル設定の  ボタンから出力先とファイル名を設定します。

2. 範囲指定を設定します。

3. エクスポート方法を選択します。

a. 通常エクスポート（A～D →A & E→B）

「セリフ→原文」：sdb ファイルの原文ウィンドウに、原文 + 半角スペース + セリフが入ります。字幕ウィンドウは空欄になります。

b. テロップエクスポート（A～E →A & テロップ→B）

 sdb の B トラックの原文欄には、テロップ原文がエクスポートされます。

 テロップが 2 行以上ある場合は、改行は半角スペース置き換わってエクスポートされます。

「セリフ→原文」：sdb ファイルの A トラックの原文ウィンドウに、原文 + 半角スペース + セリフが入り、字幕ウィンドウは空欄になります。

sdb ファイルの B トラック原文ウィンドウに、テロップ原文 + 半角スペース + テロップが入り、字幕ウィンドウは空欄になります。

c. トラック選択エクスポート（sdbd の任意のトラック → sdb の任意のトラック）

4. タイムコードが重なっていた場合は、一番前のセリフの In 点から一番後ろのセリフの Out 点までが一つのスポットティングとなり、セリフは半角スペースで繋がってエクスポートされます。

*Roll & Scene リスト

[エクスポート] → [Roll & Scene リスト]を選択します。Roll の IN/OUT、Scene の IN/OUT のタイムコードと Roll・Scene ごとの

登場人物がリストとして表示されます。IN の直前の吹替の行数と TC が自動的に OUT に設定されます。

* 香盤表

[エクスポート] → [香盤表]を選択します。Roll&Scene リストを元に香盤表 (csv ファイル) を出力します。

Word の縦書き台本にそのまま使えるよう、右から左に登場が早い順に人物名が表示され、登場するロールに○印が表示されます。

* CSV

[エクスポート] → [csv]を選択します。クオリティチェック用として利用できます。

32. データファイルのインポート

* sdb のインポート

SSTG1 シリーズ (字幕制作ソフト) で作成した sdb ファイルをインポートすることができます。

 あらかじめ新規 sdbd ファイルを作成し、元の sdb ファイルと同じフレームタイプを設定して下さい。

1. [インポート] メニューの [sdb]をクリックします。
2. 『SST プロジェクトファイルのインポート』ダイアログボックスで、[インポートファイル(.sdb)]を選択します。

 Aトラックは Aトラックに、Bトラックは Eトラックにインポートされます。

「セリフ枠空欄インポート」・・・セリフ枠は空欄で、原文ウィンドウに原文 + 半角スペース + 字幕がインポートされます。

「テロップインポート」・・・Bトラックの字幕をテロップとしてインポートします。Bトラックの原文はテロップ原文になります。

33. 全画面表示

 ボタンをクリック・・・映像を全画面で表示します。

1. 映像再生中に[ビデオコントローラー]を隠すには、 ボタンをクリックします。

(画面上でマウスをクリックすると[ビデオコントローラー]が再表示されます)

2. 全画面表示を終了し、通常の SST G1 の画面に戻るには、[ビデオコントローラー]の右上にある  ボタンをクリックします。

 [ユーザー設定] - [画面表示]で「波形ウィンドウを短縮し、吹替 BOX を縦長表示する」にチェックが入っていると使用できません。

34. 多重起動

プロジェクトを開いている状態で、別ウィンドウで他の sdbd ファイルを開くことができます。

sdbd ファイルのダブルクリックでも同様です。

 同じ sdbd ファイルを開いた場合、最初に開いたウィンドウ以外はビューワーモードで開かれます。

35. sdbd 検索

指定したフォルダ内に存在するすべての sdbd ファイル内のセリフや原文等を一括で検索します。ファイルを開く必要はありません。

1. [検索等]→[sdbd 検索]をクリックします。
2. [検索場所]の  をクリックして検索したいフォルダを指定します。
3. [検索情報]にキーワードを入力し、種類を指定します。
4. [検索方法]を指定し、[検索開始]をクリックします。
5. [検索結果:]にヒットした sdbd ファイルや吹替情報が表示されます。検索結果の表をダブルクリックすると該当の sdbd ファイルが開きます。

36. 最終チェック

作成した sdbd の余分なスペースや改行、NG ワードなどを一括で検出します。必ず sdbd ファイルを保存してから実行してください。

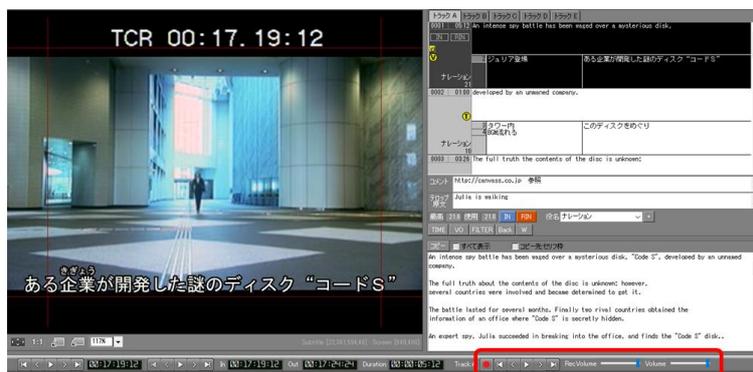
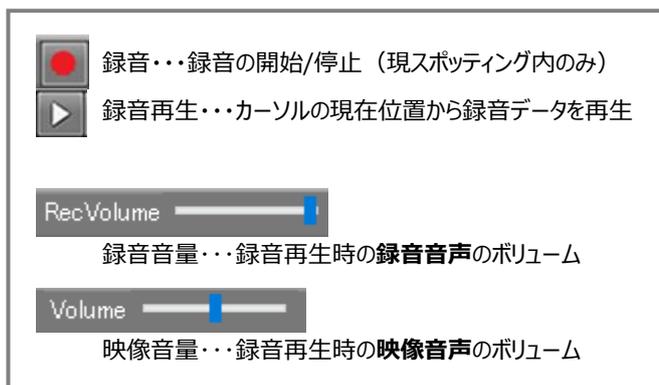
1. [チェック]→[最終チェック]をクリックします。
2. [チェック項目フィルター]にて、チェックした項目にチェックを入れます。
3. NG ワードのチェックをしたい場合は、チェックワードの[登録]から NG ワードの登録を行ってください。
4. [OK]をクリックします。
5. チェック結果が表示されます。結果の表をダブルクリックすると該当の吹替へジャンプします。

37. 録音機能

スポッティングに音声（セリフ等）を録音します。

※録音機能の利用にはマイクが必要です。

※録音機能はサポート対象外です。



1. 録音したいスポッティングを選択します。 ※**スポッティングのない部分には録音できません。**

2. 録音ボタンをクリックすると録音を開始します。

波形上のカーソルがスポッティングの in 点から out 点へと動いている間に、マイクに向かって音声を吹き込みます。

※マイクが接続されていない場合や有効になっていない場合は「録音に失敗しました」のメッセージが表示されます。

3. スポッティングの out 点でカーソルが止まり、録音が終了します。録音した吹替 BOX には録音マーク **R** がつきます。

※スポッティングの途中で録音を終了する場合は、再度録音ボタンをクリックしてください。

4. 録音再生ボタンをクリックすると、カーソルの現在位置から録音した音声が再生されます。

* 録音データの削除

1 つの録音データ削除・・・録音データが存在する吹替 BOX を波形またはテキストウィンドウ上で右クリック→[録音データ消去]
すべての録音データ削除・・・[ファイル]－[このプロジェクトファイルの録音データを一括消去する]

* オプション

[設定]－[ユーザー設定]－「詳細」タブ－「録音」

※オプション設定を有効にするには SSTG1Dub を再起動してください。

「録音時、背景音も再生する」・・・録音中に映像の音声は再生されます。

「複数トラックの録音を同時再生する」・・・録音再生時、全トラックの録音音声は再生されます。

※このオプションが選択されていない場合、**現トラックの録音音声しか再生されません。**

* 録音データの保存場所と受け渡し

録音を行うと、sdbd ファイルと同じ場所に録音データフォルダが作成され、その中に録音データが入ります。

録音データフォルダの場所：**sdbd ファイルと同じフォルダ内**

録音データフォルダの名称：**「Dubrec_(sdbd ファイル名)」**

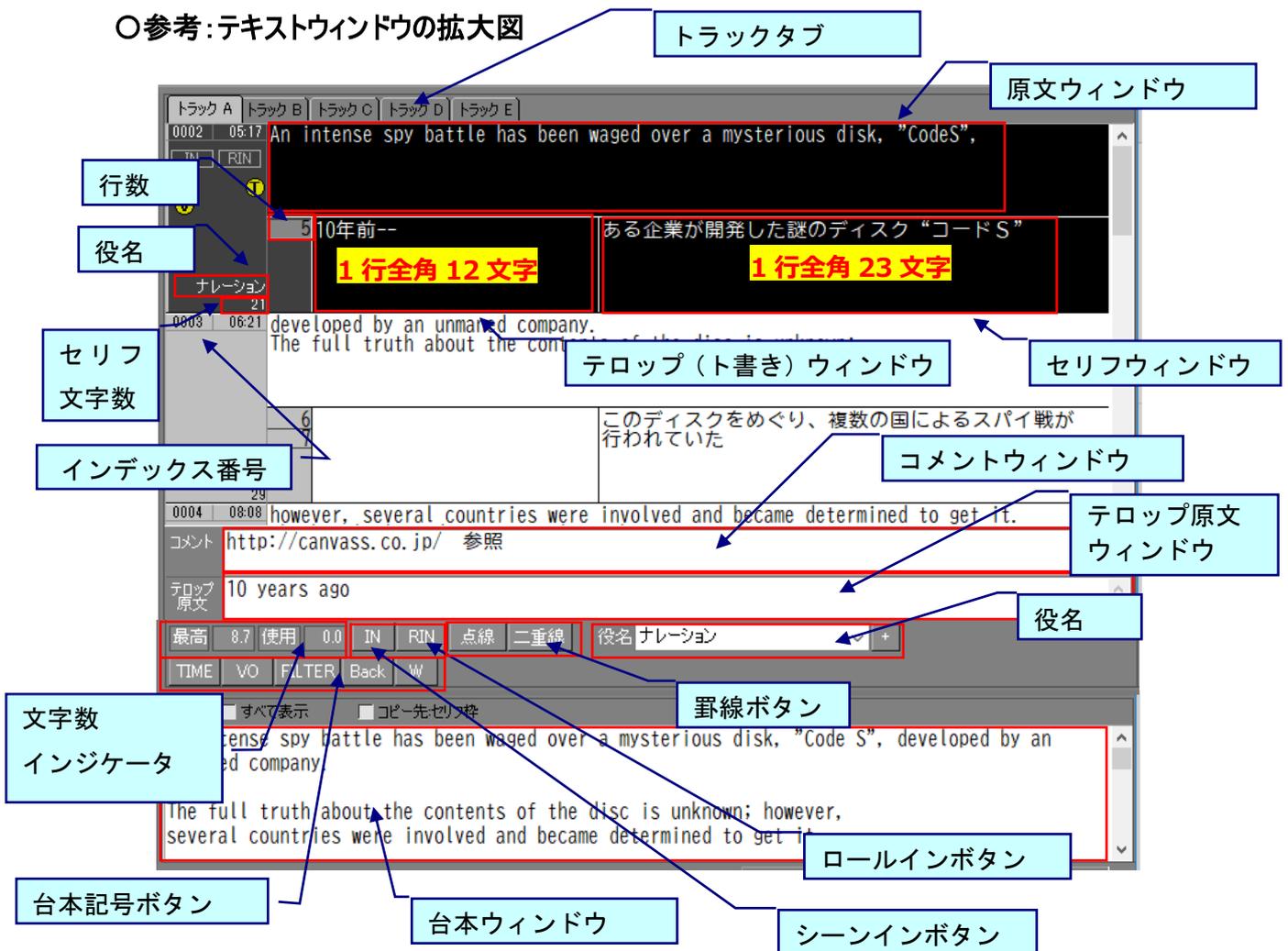
別の PC で録音データを使用したい場合・・・sdbd ファイルと一緒に録音データフォルダも受け渡してください。

受け取った録音データフォルダは sdbd ファイルと同じ場所に置いてください。

sdbd ファイルの保存場所を移動する場合・・・録音データフォルダも sdbd ファイルの移動先フォルダに移動してください。

sdbd ファイルの名前を変える場合・・・録音データが保存されているフォルダの名前を「Dubrec_(変更後の sdbd ファイル名)」に変更してください。

○参考:テキストウィンドウの拡大図



文字数インジケータ

- ・[最高文字数インジケータ]: 使用できる文字数
- ・[使用文字数インジケータ]: 使用されている文字数

台本記号ボタン

- ・[TIME]: 吹替台本にタイムスタンプ (mm:ss) を出力します。テロップ (ト書き) 欄の下に出力します。テロップ (ト書き) が10文字以上入力されている場合は当該ボタンは押せません。
- ・[VO]: 吹替台本にボイスオーバーマーク (VO) を出力します。役名の下に出力します。
- ・[FILTER]: 台本にフィルターマーク (f) を出力します。役名の下に出力します。
- ・[Back]: 台本にBackマーク (B) を出力します。役名の下に出力します。
- ・[W]: 実際にセリフのタイムコードが重なっていてもセリフかぶりマーク (W) をつけます。

シーンインボタン[IN]

シーンを設定したい場合、シーンの最初のスポットティングを選択して[IN]ボタンをクリックします。

ロールインボタン[RIN]

ロールを設定したい場合、ロールの最初のスポットティングを選択して[RIN]ボタンをクリックします。

点線ボタン

Word台本でそのセリフの直前に点線を引きます。

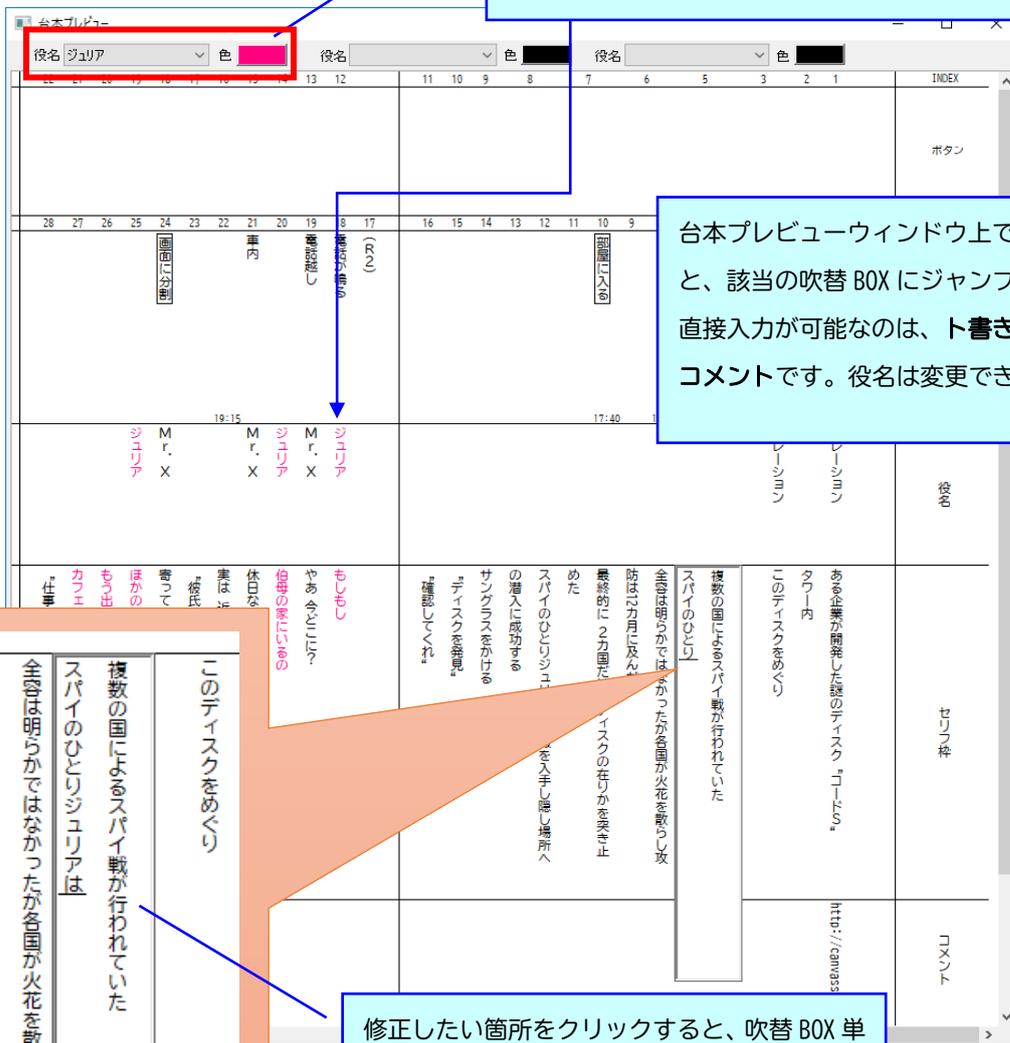
二重線ボタン

Word台本でそのセリフの直前に二重線を引きます。

○参考:台本レビューウィンドウ

[吹替]-[台本レビュー]から開きます。

プルダウンで指定した役名の、役名とセリフに色をつけます。(最大3人まで)



台本レビューウィンドウ上でクリックすると、該当の吹替 BOX にジャンプします。直接入力可能なのは、ト書き枠、セリフ枠、コメントです。役名は変更できません。

修正したい箇所をクリックすると、吹替 BOX 単位で入力 BOX がアクティブになり、文字を直接入力することができます。

[イタリック・ルビ]: 文字を選択した状態で右クリックし、イタリック・ルビを設定します。

セリフ、ト書き/テロップに設定可能です。

